

今井地区まちづくり協議会の目的

- 地域に居住する人の生きがいがづくり
- 地域住民のコミュニティの場づくり
- 地域の課題の解決
- その他本会の目的に必要な事項

(今井地区まちづくり協議会 規約より抜粋)



(今井地区まちづくり協議会イメージイラスト)

地域に誇りを持ち、いつまでも住み続けられる地域を目標に住民が安心して暮らし、住みやすい地域づくりに努めています。今後も多様な立場や考えの方が暮らす地域の中で住民の知恵を出し合ってまちづくり活動を高めていきたいと思っていますのでご理解、ご協力の程よろしくお願いします。

●今後の予定

- ・いきいき100歳体操

2月18日（月）13：30～協議会事務所にて、毎週月曜日、同じ時間で行います。

- ・もち麦(キラリモチ)栽培の視察研修を計画

3月26日（火）午前8時出発、宇治地域市民センター（高梁市宇治町）へ特産品開発による地域活性化の学習。キラリモチ麦栽培圃場の視察へ参加ください。

参加申込み締切：3月7日（木）小寺主さんまで（TEL63-0519）

【今井地区まちづくり協議会事務所設置】

（JA倉敷かさや今井支店跡）



今井地区まちづくり協議会長期ビジョンと部会テーマ

長期ビジョン

テーマ① いつまでも住み続けたいと思うまち →

テーマ② 郷土に誇りが持てるまち →



長期ビジョンに向け、地域の特色、個性を大切にしながら、地域住民の創意工夫と責任のもと、様々な活動を行うことにより、地域力を高め住みよい今井地区の活性化を図る。

●12月1日（土）平成30年度笠岡市まちづくり活動報告会

報告会は、部屋中の壁に各協議会の活動報告が張り出して有り、会場一杯の参加者と大勢のスタッフの中で、岡山県立大学の「地域協働演習」と六島、陶山、今井の3協議会の活動事例発表、パネルディスカッションが行われました。今井はDVDを使って発表し、参加者から好評を得ました。



●12月9日（日）今井地区まちづくり協議会活動報告会 開催 協議会事務所にて



花いっぱい事業



休耕地そば栽培事業

【知ってて良かった防災クイズ】

* 答えは裏面左下にあります。

■問1

自宅にいて地震が発生した場合、一番に取るべき行動はどれでしょう？

- A：ドアや窓を開ける
- B：ガスの元栓を締める
- C：机の下に隠れる

■問2

外出しているときに地震が発生した場合、どこに逃げると良いか？

- A：コンビニエンスストア
- B：ガソリンスタンド
- C：交番

花いっぱい事業（いつまでも住み続けたいと思うまち部会）

馬飼地区の「ふれあい花壇」に、昨年7月14日（土）に植栽した花は（マリーゴールド、コリウス）天候の関係で予定より長期間楽しめました。

●11月24日（土）

花の片付け、撤去（施肥、耕運）

19名参加

片付け後に部会開催（今後の方針）

13名参加



●12月14日（金）植栽準備

耕運、整地

10名参加

●12月15日（土）花苗植栽

パンジー、ビオラ（1,000株）

葉ボタン（50本）

24名参加



●1月11日（金）成育状況

冬は成長が遅い、しかし小さいながら花をつけている。

休耕地対策事業（郷土に誇りが持てるまち部会）

●11月3日（土）・10日（土） そば刈り、島だて

台風の影響を受け、作業は困難であるが、子供たちも参加。島だて作業は実に楽しそうだった。

楽しい声が大地に響いたようだ。

総勢54名参加



●11月11日（日）もち麦種まき

新たな取り組み“健康づくりでキラリと輝く今井”を目指して！

夢は大きくて、いいね！

19名参加

●11月23日（金）玉ねぎ苗植え

沖山の圃場に1,200本の苗を老若男女で最高の出来栄を期待し定植をしました。収穫は6月の予定。

21名参加



●12月9日（日）そばビールお披露目とそばの試食会

大勢の来場者！！ビールのお披露目は100人以上参加。

限定50食のそば試食会は満席で最高でした。

